

お得意様各位

令和8年3月吉日

(株) 山一本店

代表取締役 田中 和彦

### 重要なお知らせ

早春の候、貴殿益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、常日頃は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、裏面の通り、今般、三菱マヒンドラ農機株式会社は「本年9月をもって農業機械の生産・販売から撤退し、補修用部品供給及び製品保証は、継続して続ける」という内容をホームページで発表致しました。

戦後、三菱重工が平和産業に転換し、農業機械の生産・販売を開始して以来「かつら、メイキエンジン」で皆様にご愛顧いただきました。先代社長である父・良造の頃より販売しておりましたスリーダイヤブランドの農機を失うことは、私にとっても非常に残念な思いです。

弊社といたしましては、創業精神の「お客様第一」に徹し、今後とも三菱農機製品の部品の供給、修理などアフターサービスを徹底して行う所存です。また、皆様にとってより良い製品の拡充、サービス・情報を提供し続けられるよう、社員一同努めて参ります。

今後とも変わらぬご愛顧、お引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

## NEWS RELEASE

2026年3月2日

### 当社事業方針に関する重要なお知らせ

三菱マヒンドラ農機株式会社（本社：島根県松江市、CEO 取締役社長：齋藤 徹）は、農業用機械事業からの撤退を決定致しました。当社は、これまで当社製品をご愛顧いただいたお客様への影響を最小限に抑えるため、当社製品の補修用部品供給及び製品保証を継続する一方、2026年度上期を以て農業用機械の生産及び販売を終了する予定です。

#### ■ 事業撤退の背景

当社は1914（大正3）年創業以来、国内外の食料安定供給の一翼を担うべく農業用機械事業を展開し、多くの農家の皆様に当社製品をご愛顧いただけてまいりました。事業環境が国内外で大きく変化する中でも、当社は持続的成長を目指し、構造改革を断行しつつ高まる市場のニーズに応えるべく新商品の開発に取り組み、新規市場開拓におきましても努力を重ねてまいりましたが、近年の業界を取り巻く市場環境および需要構造の変化、並びに生産体制に関する諸条件を総合的に勘案し、長期間に亘って事業としての収益性と将来の持続可能性を慎重に見極めた結果、当該事業の安定的な継続は困難であるとの結論に至りました。

#### ■ 撤退事業

対象事業：農業用機械の研究・開発、生産、国内及び海外への販売  
撤退時期：2026年度上期（予定）

#### ■ 継続事業について

継続事業：当社製品の補修用部品供給事業 及び 製品保証事業

#### ■ 今後の予定

継続事業以外の事業については、会社法に基づき会社を解散し、通常清算手続を行う予定です。事業撤退により、当社製品をお使いのお客様をはじめ、お取引様を含む関係各位へのご不便・ご迷惑をおかけすることのないよう配慮の上、進めてまいります。今後、各取引先様には個別にご連絡させて頂く予定です。また、継続事業に従事する社員を除き、本事業撤退によりやむなく退職となる社員には可能な限り再就職支援を行ってまいります。